

建設新聞読むなら建通新聞。[建設専門紙]

愛造協 名造協 ボランティア活動

2016/1/6 中部版 掲載記事より

愛知県造園建設業協会の名古屋支部（梅岡美喜男支部長）と名古屋東部支部（稲熊居吉支部長）、名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男会長）は合同で12月25日、名古屋市昭和区の川名公園でボランティア活動を実施した。

冒頭、名古屋市昭和土木事務所の高瀬浩吉所長は「災害時の一次避難所としての機能を持つ川名公園で、ボランティア活動をしていただけるのは大変ありがたい」とし、「造園業者さんとわれわれはパートナーだと思っている。一緒に頑張っていきたい」と述べた。続いて、梅岡会長は「ボランティア活動も、業界発展のための要望もしっかりとしていく」と意気込みを語った。

当日は両協会の会員ら約30人が参加。園内のごみ拾いなどを行った。



Copyright © 2006-2016KENTSU SHINBUNSHA. All Rights Reserved

建設新聞読むなら建通新聞。[建設専門紙]

名造協 花壇管理業務

2016/1/19 中部版 掲載記事より

名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男会長）は1月14日、名古屋市
中村区の中村公園前交差点と千種区の今池交差点で花壇の管理業務
を行った。中村区には5色のパンジー700株、千種区にも同じ
くパンジー400株を植えた。

協会では、中村公園前交差点と今池交差点に花壇を設置して、1
年を通じて維持管理することを名古屋市に寄付しており、今後は地
域の住民にも参加してもらい一緒に植栽活動をしていきたい考え
だ。

名古屋市中村土木事務所の服部幸也所長は「本年度も3回花壇管
理業務をやっていた。大変ありがたい」と感謝の意を示し
た。



Copyright © 2006-2017KENTSU SHINBUNSHA. All Rights Reserved

建設新聞読むなら建通新聞。[建設専門紙]

名造協 総会 新年祝賀会

2016/1/28 中部版 掲載記事より

名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男会長）は1月25日、名古屋市内で総会と新年祝賀会を開催し、新年祝賀会には関係者約100人が出席した。熊田裕道衆議院議員、藤沢ただまさ名古屋市会議長、国土交通省の中村英夫建政部長、名古屋市の黒川和博緑政土木局長ら多くの来賓が駆け付けた。

総会では2016年事業計画として「名古屋市内にホテルを飛ばそう」プロジェクト、花壇管理ボランティア活動などを行っていくこととした。守山区の才井戸流れに生息するヘイケボタルの調査研究や保護活動を行う。毎年行っている中村区と千種区の花壇管理では今年から地元住民とともにメンテナンスを行っていきたい考えだ。

あいさつに立った梅岡会長は「協会は名古屋市とともに歩んでいける活動を積極的に進めていく。そのためには本業の造園工事をぜひわれわれ協会員でやらせていただきたい」とお願いした。また、熊田議員は「自公民の市議団と連携して造園業者をサポートしていく」と述べた。



Copyright © 2006-2017KENTSU SHINBUNSHA. All Rights Reserved

建設新聞読むなら建通新聞。[建設専門紙]

愛造協 名造協 植栽ボランティア

2016/2/26 中部版 掲載記事より

愛知県造園建設業協会名古屋支部（梅岡美喜男支部長）と名古屋東部支部（稲熊居吉支部長）、名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男会長）は2月23日、名古屋市の戸田川緑地で植栽の合同ボランティア活動を実施した。会員30人のほか、名古屋市職員や名古屋市みどりの協会、富士文化幼稚園の園児と父兄ら約200人が参加した。

とだがわ生態園の核となる区域に隣接する植樹帯で、水郷の原風景を再現するため、第2層の植樹本数を密にした。イロハモミジなど19種253株を植栽した。

あいさつに立った名古屋市みどりの協会の久田康則事業部長は「造園協会会員の方々には毎年、とだがわの森の育樹活動への協力をはじめ、植樹する樹木の手配や、造園のプロとしての指導などしていただき大変ありがたい」と感謝していた。



Copyright © 2006-2016 KENTSU SHINBUNSHA. All Rights Reserved

建設新聞読むなら建通新聞。[建設専門紙]

愛造協 名造協 猪高公園でボランティア活動

2016/5/2 中部版 掲載記事より

愛知県造園建設業協会名古屋支部（梅岡美喜男支部長）と名古屋東部支部（稲熊居吉支部長）、名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男会長）は4月27日、名古屋市名東区の猪高公園でボランティア活動を実施した＝写真。

冒頭、名古屋市名東土木事務所の岡本副所長は「地域に根ざした造園業者の皆さんがこうして活動していただけるのは行政として心強い。これからも行政と連携をとっていただきたい」と話した。

梅岡会長は「広い公園で大変だとは思いますが、今回の作業を機会に健全な竹林を造っていければ」と意気込みを語った。

当日は両協会の会員ら約30人が参加。竹の伐採や間伐を行った。



Copyright © 2006-2016 KENTSU SHINBUNSHA. All Rights Reserved

建設新聞読むなら建通新聞。[建設専門紙]

名造協 花壇管理ボランティア

2016/5/18 中部版 掲載記事より

名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男会長）は14日、名古屋市中村区の中村公園前交差点と千種区の今池交差点で花壇の管理業務を行った。

中村区には3色のベゴニア700株、千種区にも同じくベゴニアを450株を植えた。

協会では、中村公園前交差点と今池交差点に花壇を設置、1年を通じて維持管理することを名古屋市に寄付しており、活動をスタートさせてから3年目を迎えた。今回の花植え作業は2015年度の1回目で、今後も定期的に花植作業を行っていく。

名古屋市中村土木事務所の服部幸也所長は「造園の専門家に管理してもらえるのは大変ありがたい」と感謝を述べるとともに「今まで花壇を誰が管理しているのかを示した看板が設置されていなかったなので、看板を作った。協会の活動をPRできる一助になればと考えている」と述べた。



Copyright © 2006-2017KENTSU SHINBUNSHA. All Rights Reserved

建設新聞読むなら建通新聞。[建設専門紙]

名造協 名古屋市から感謝状

2016/6/6 中部版 掲載記事より

名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男会長）は6月1日、名古屋市緑政土木局から、花壇管理ボランティアに対する感謝状を授与された。感謝状は緑地部の今西良共部長が梅岡会長に手渡した。

今西部長は「今池と中村公園の交差点の花壇管理のボランティアを4年間も続けてくれ感謝している。名古屋市としてもできる限り協力をしていきたい」と述べた。梅岡会長は「今までわれわれが作業をしているときに興味を持って見てくれていた人もいた。今後は地域住民も取り込んで、地域全体で管理していきたい」と話した。

名古屋市造園建設業協会は、今池交差点と中村公園交差点の花壇を4年前からボランティアで管理している。年に数回、ベゴニアやパンジー、マリーゴールドなどを寄付している。

また、感謝状贈呈式後、名古屋市が進めている「みどりの補助金」事業について説明を行い、名古屋市造園建設業協会にもPR活動の協力を求めた。みどりの補助金事業は、条件に合った屋上緑化や壁面緑化、空地緑化、駐車場緑化などの工事費を補助するもの。



写真手前向かって左が今西部長、右が梅岡会長

Copyright © 2006-2017KENTSU SHINBUNSHA. All Rights Reserved

建設新聞読むなら建通新聞。[建設専門紙]

愛造協、名造協ボランティア

2016/6/30 中部版 掲載記事より

愛知県造園建設業協会名古屋支部（梅岡美喜男支部長）と名古屋東部支部（稲熊居吉支部長）、名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男会長）は合同で6月24日、名古屋市東区の矢田第二公園とその周辺道路でボランティア活動を実施した。

冒頭、名古屋市東土木事務所の小幡俊一所長は「日ごろから緑化行政に協力していただいている協会の皆さんに、剪定（せんてい）やごみ拾いなど、ボランティア活動を継続的に行ってくれていることを非常に感謝している。われわれ、行政だけではできない部分もあり、その活動のおかげで、名古屋のまちが美しくなり、緑が増えてくることにつながっている」と述べた。

当日は両協会の会員ら約30人が参加。園内にある樹木のやごの剪定や沿道のごみ拾いなどを行った。



Copyright © 2006-2016 KENTSU SHINBUNSHA. All Rights Reserved

建設新聞読むなら建通新聞。[建設専門紙]

愛造協、名造協 ボランティア

2016/8/26 中部版 掲載記事より

愛知県造園建設業協会名古屋支部（梅岡美喜男支部長）と名古屋東部支部（稲熊居吉支部長）、名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男会長）は8月23日、名古屋市中区の名古屋城外周区域で、3団体合同によるボランティア活動を実施した。

冒頭、名古屋城総合事務所管理課の中村倫之係長は「両団体の皆さんには、日ごろから公園をきれいで過ごしやすい空間にしてくれて感謝している。今日も暑くなるので、皆さんの体調を第一に作業を進めてほしい」と述べた。当日は会員ら約35人が参加。名古屋城周辺のごみ拾いのほか、生け垣を囲む「からたち」の手入れ作業を行った。また、以前に名古屋市に寄付した松の剪定（せんてい）や周辺の雑草の刈り取りも行った。



Copyright © 2006-2016KENTSU SHINBUNSHA. All Rights Reserved

建設新聞読むなら建通新聞。[建設専門紙]

名造協 情報伝達訓練

2016/9/6 中部版 掲載記事より

名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男会長）は8月30日、情報伝達訓練を実施し、会員56社と名古屋市の各土木事務所が参加した。

同協会は、名古屋市との間で「災害時における応急対策業務に関する協定」を締結しており、今回の訓練は、その中の自動出動に関して、名古屋市との連携をさらに強化する目的で行われた。

当日は、午前9時に震度6弱以上の地震発生を想定。各会員は災害協定に基づいて自動出動し、あらかじめ指示された広域避難場所と、一時避難場所の現場状況写真を各土木事務所に送付した。



Copyright © 2006-2017KENTSU SHINBUNSHA. All Rights Reserved

建設新聞読むなら建通新聞。[建設専門紙]

名造協 森と緑の防災訓練

2016/9/15 中部版 掲載記事より

名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男理事長）は9月11日、川名公園で森と緑の防災訓練を実施した。今回は名古屋市造園建設業協会の他、昭和土木事務所、昭和警察署、昭和消防署、名古屋市指定水道工事店協同組合らが協力して、昭和区子ども会ジュニアリーダー養成講座に参加している子どもたちの防災訓練を行った。

冒頭、あいさつに立った梅岡理事長は、「川名公園は、もともとその土地に住んでいた昭和区の住民に、多大な協力をしてもらって完成した公園。災害時には防災公園として機能する。今日の訓練で災害時にできることをしっかりと学んでほしい」と話した。

訓練では、まず地震に関わるクイズを実施、景品には防災グッズを用意した。その後、4班に分かれて、災害時に役立つロープワーク、応急処置や応急給水施設、井戸ポンプ、簡易トイレの設置について説明した。



Copyright © 2006-2016KENTSU SHINBUNSHA. All Rights Reserved

建設新聞読むなら建通新聞。[建設専門紙]

名造協 試験施工見学会

2016/10/14 中部版 掲載記事より

名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男会長）は10月11日、「緑政土木局新技術」選定に伴う試験施工見学会を、名古屋市東区の市道深田外堀町線柳原1丁目交差点付近で行った。

当日は、名古屋市緑政土木局職員が約40人、同協会員が約30人が参加。

試験施工見学会で使用したのは、同協会が新技術として緑政土木局に登録した街路樹抜根機「根こそぎ切るソーⅡ型」で、6カ所を施工した。

これまでの街路樹更新工事では、もともとの樹木を取り除く作業のときにユンボなどを使用していたが、手間と時間が掛かる上、水道管や縁石などの構造物を傷つけるリスクもあるため敬遠されがちだった。この新技術ではこれらの問題を解決するほか、施工時の省人化も図ることができる。



Copyright © 2006-2017 KENTSU SHINBUNSHA. All Rights Reserved

建設新聞読むなら建通新聞。[建設専門紙]

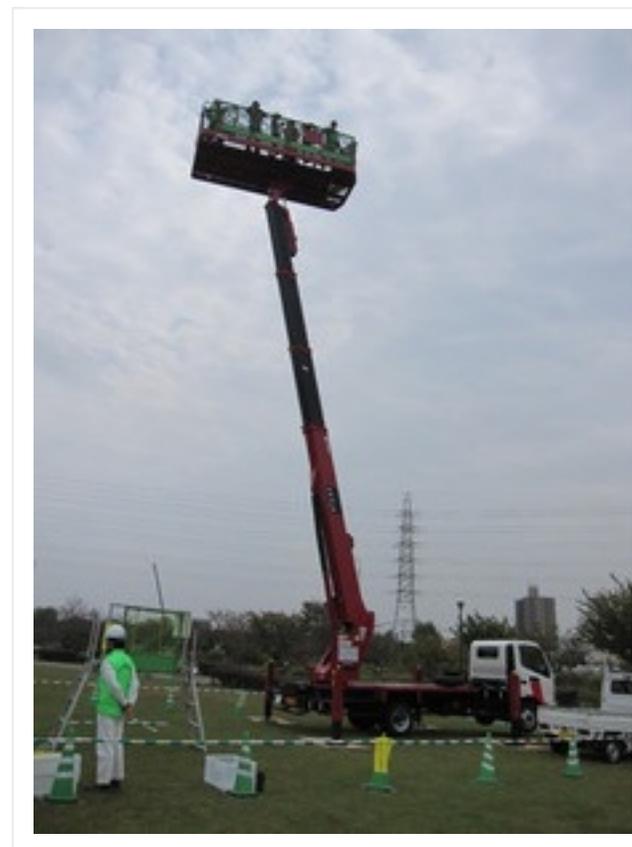
名造協 とだがわの森感謝祭ボランティア

2016/10/26 中部版 掲載記事より

愛知県造園建設業協会の名古屋支部（梅岡美喜男支部長）と名古屋東部支部（稲熊居吉支部長）、名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男会長）は10月22日、戸田川緑地で開催された「なごや西の森づくり事業とだがわの森感謝祭」を支援するボランティア活動を実施した。

当日は、両協会員約30人の他、市民や地域ボランティア、名古屋市職員らが大勢参加。会員は、参加者が苗木を補植する作業や木の伐採などを行う育樹作業、雑草などを刈る除草作業の指導や補助を行った。

また、今回から新たな試みとして、高所作業車のブース、「空からとだがわの森を見てみよう」という企画を行い、約200人の親子が体験した。終了時間ぎりぎりまで多くの子どもたちが並んだ。



建設新聞読むなら建通新聞。[建設専門紙]

名造協 花壇管理ボランティア

2016/10/28 中部版 掲載記事より

名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男会長）は10月25日、26日の2日間、名古屋市中村区の中村公園前交差点と千種区の今池交差点で花壇の管理業務を行った。協会員25人の他、名古屋市議会議員の斉藤たかお議員も参加した。

名古屋市中村土木事務所の服部幸也所長は「毎年、花壇管理を造園の専門家に管理してもらい感謝している」と感謝するとともに、「できれば植え替えの時期を周辺のお祭りの前にしてもらえれば、協会のPRにもつながるだろう」とあいさつ。

続いて斉藤議員は「ここは中村公園の玄関口なので多くの人目に留まる。区民のシンボリックな場所で、このように貢献している協会の活動をもっと広く知ってもらいたい」と話した。

協会では、毎年一年を通じて花壇の維持管理することを名古屋市に寄付しており、今回は2016年度2回目となる。



Copyright © 2006-2017KENTSU SHINBUNSHA. All Rights Reserved

建設新聞読むなら建通新聞。[建設専門紙]

名造協 感謝状贈呈 防災施設設営訓練

2016/12/1 中部版 掲載記事より

名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男会長）は11月26日、名古屋市昭和区の川名公園で、親子三世代防災施設設営訓練に協力し、災害対応型日陰棚の設置補助や炊き出しなどを行った。地域住民が約100人参加し、炊き出しのぜんざいを楽しんだ。また、防災施設設営訓練に先立って、名古屋市から、かまどベンチの寄贈に対し感謝状が贈られた。

冒頭、名古屋市昭和土木事務所の高瀬浩吉所長は「川名公園は平常時、市民の憩いの場として活躍しているが、いざという時は避難場所として活用できる。多くの防災施設があり、設営の仕方を学んでほしい」とあいさつ。梅岡会長は「ぜんざいの炊き出しは昨年が続いて2回目となるが、たくさん食べて、冷えた身体を暖めてほしい」と述べた。

寄贈したかまどベンチは、通常時はベンチとして使用し、災害時にはかまどとしても使える。ぜんざいの炊き出しは寄贈したかまどベンチを使った。

参加者は園内の防災施設を巡りながら、災害用トイレの使用方法や日陰棚の設営状況を確認した他、昭和消防署の地震体験車による震度7を体験した。



建設新聞読むなら建通新聞。[建設専門紙]

愛造協、名造協 ボランティア

2016/12/27 中部版 掲載記事より

愛知県造園建設業協会名古屋支部（梅岡美喜男支部長）と名古屋東部支部（稲熊居吉支部長）、名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男会長）は合同で12月22日、名古屋市熱田区の熱田街園でボランティア活動を実施した。

両協会は2カ月に1回、ボランティア活動を行っているが、熱田街園は初めて実施する。当日は会員ら25人が参加。園内のごみ拾いを行った。

名古屋市熱田土木事務所の伊藤悟所長は、熱田街園について「園内に池があり、めだかを放流するなど市民の憩いの場となっている」と説明、「今回初めてボランティア活動を実施してもらい、大変感謝している。今後も続けてもらえたらありがたい」と述べた。

名古屋市造園建設業協会ボランティア活動実行委員会の菊池栄司委員長は「熱田街園がある通りは、熱田神宮に初詣に来る人たちが大勢来るので、来年以降も毎年12月下旬に実施していく」と話した。



Copyright © 2006-2016 KENTSU SHINBUNSHA. All Rights Reserved

建設新聞読むなら建通新聞。[建設専門紙]

名造協 花壇管理

2017/1/20 中部版 掲載記事より

名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男会長）は1月17日、18日の2日間、名古屋市千種区の今池交差点と中村区の中村公園前交差点で花壇の管理業務を行った。2日間で協会員約20人が参加、中村公園前交差点には名古屋市議会の斉藤たかお議員も駆け付けた。

今回は今池交差点にパンジー350株、中村公園前交差点に同じくパンジー700株を植えた。あいさつに立った斉藤議員は、「寒い中、名古屋市の美化のために日ごろから協力していただいて感謝している。中村公園前交差点は車の通行も多いので、安全に気をつけて作業してほしい」と述べた。

協会では、毎年一年を通じて花壇の維持管理することを名古屋市に寄付しており、今回は2016年度3回目となる。



Copyright © 2006-2017KENTSU SHINBUNSHA. All Rights Reserved

建設新聞読むなら建通新聞。[建設専門紙]

名造協 総会・新年祝賀会

2017/2/3 中部版 掲載記事より

名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男理事長）は1月31日、名古屋市内で総会と新年祝賀会を開催し、新年祝賀会には関係者約100人が出席した。国土交通省中部地方整備局の横山克人建政部長、衆議院議員の熊田裕道氏、加藤一登名古屋市会議長、名古屋市の三輪友夫緑政土木局長ら多くの来賓も駆け付けた。

冒頭、梅岡理事長は「協会は、地域住民との防災訓練や地域のごみ拾い、交差点の花壇の寄付など、名古屋市民の安全と快適な生活を継続できるように多くの活動を行っており、これらは今年も積極的に行っていく」との意気込みを述べたが、「そのためには本業がうまくいっていないと難しい。名古屋市の造園工事を分離発注していただき、ぜひわれわれ協会員でやらせていただきたい」とお願いした。

総会では、2017年事業計画として「名古屋市内にホテルを飛ばそう」プロジェクト、花壇管理ボランティア活動などを行っていくことが承認された。毎年行っている中村区と千種区の花壇管理では、今年から地元住民とともにメンテナンスを行っていきたい考えだ。



Copyright © 2006-2017 KENTSU SHINBUNSHA. All Rights Reserved

建設新聞読むなら建通新聞。[建設専門紙]

愛造協、名造協 植栽ボランティア

2017/2/24 中部版 掲載記事より

愛知県造園建設業協会の名古屋支部（梅岡美喜男支部長）と名古屋東部支部（稲熊居吉支部長）、名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男会長）は2月21日、名古屋市の戸田川緑地で植栽の合同ボランティア活動を実施した。会員30人の他、名古屋市職員、富士文化幼稚園の園児と保護者ら約100人が参加した。

とだがわ生態園の核となる区域に隣接する植樹帯で、水郷の原風景を再現するため、イロハモミジなど18種170株を植栽した。

名古屋市造園建設業協会ボランティア活動実行委員の菊池栄司委員長は冒頭、ボランティア活動を行う会員を激励するとともに「イロハモミジやヤマザクラの2種を超える種類については両協会員で直接植え付け、その他の種類については園児たちをしっかりとサポートしてほしい」とあいさつした。



Copyright © 2006-2017KENTSU SHINBUNSHA. All Rights Reserved

建設新聞読むなら建通新聞。[建設専門紙]

名造協ら 小学生の芝張り作業を指導

2017/3/9 中部版 掲載記事より

名古屋市造園建設業協会、名古屋市緑政土木局昭和土木事務所、昭和区地域力推進課、ショウちゃん隊は3月7日、名古屋市昭和区の川名公園で、名古屋市立広路小学校の6年生児童の地域貢献体験に伴う準備作業と指導に協力した。

同校の6年生が、6年間お世話になった恩返しと卒業記念の意味を含め、近接の川名公園（防災公園）で地域貢献体験として芝張り作業を行い、児童60人以上が参加した。約200平方メートルに一松張で芝を張り、協会員約10人の他、職員らが準備作業や指導を行った。

昭和土木事務所の高瀬浩吉所長が、「寒い中だけど、頑張ってください。芝が根付く夏ごろには開放するので、中学生になってもこの公園に遊びに来てほしい」とあいさつした。



Copyright © 2006-2017 KENTSU SHINBUNSHA. All Rights Reserved

建設新聞読むなら建通新聞。[建設専門紙]

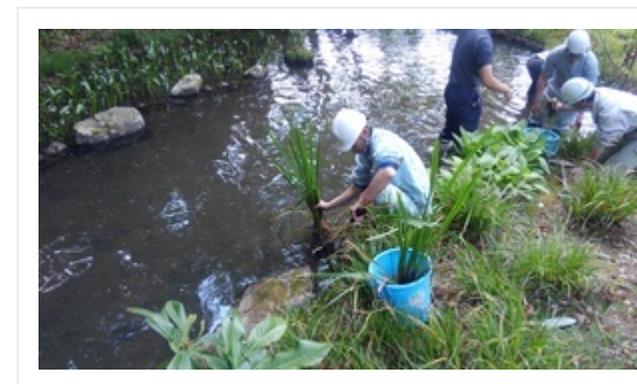
名造協 ホタルを飛ばそうPJ作業

2017/5/1 中部版 掲載記事より

名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男理事長）は4月24日、東山動物園開園80周年記念事業で、「名古屋市内にホタルを飛ばそう」プロジェクトの一環として、ホタルのすみかを作る作業を行った。

当日は、協会員12人の他、東山植物園緑地造園係の太田幹夫係長も参加した。太田係長は「プロジェクトが動き出した。地元造園企業の方々の協力のおかげで、ホタルが住みやすい環境が整えばありがたい」とあいさつ。

作業は水辺にミクリという植物3種類を5株ずつ植えた。それによりホタルの幼虫の餌となる「カワニナ」が生息するという。



Copyright © 2006-2017KENTSU SHINBUNSHA. All Rights Reserved

建設新聞読むなら建通新聞。[建設専門紙]

愛造協、名造協 ボランティア

2017/5/9 中部版 掲載記事より

愛知県造園建設業協会名古屋支部（梅岡美喜男支部長）と名古屋東部支部（稲熊居吉支部長）、名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男理事長）は4月25日、名古屋城外周区域で、3団体合同のボランティア活動を実施した。

ボランティア活動には会員約30人が参加し、周辺のごみ拾い作業を行った。

また、現場に駆け付けた名古屋城総合事務所管理課の高取真也氏は、「毎年ゴールデンウィークに多くの観光客でにぎわう名古屋城周辺の清掃作業をしていただき感謝している。安全に十分気を付けていただきたい」と感謝の意を述べた。



Copyright © 2006-2017KENTSU SHINBUNSHA. All Rights Reserved

建設新聞読むなら建通新聞。[建設専門紙]

名造協 花壇管理ボランティア

2017/5/15 中部版 掲載記事より

名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男会長）は5月9日と10日の2日間、名古屋市中村区の中村公園前交差点と千種区の今池交差点で花壇の管理業務を行った。

中村区には3色のベゴニア750株、千種区にもベゴニア450株を植えた。

協会では、中村公園前交差点と今池交差点に花壇を設置、1年を通じて維持管理することを名古屋市に寄付しており、今回は2017年度の1回目。

名古屋市中村土木事務所の佐藤秀徳所長は「協会の皆さんには日ごろから公園や街路樹の整備にご協力いただいて感謝している」と述べるとともに、「花壇管理の寄付も毎年実施していただいて、中村交差点を行き来する人たちを楽しませてくれている。事故には十分気をつけて作業を行ってほしい」とあいさつした。



Copyright © 2006-2017KENTSU SHINBUNSHA. All Rights Reserved

建設新聞読むなら建通新聞。[建設専門紙]

名造協 東山フォーラムで取組紹介

2017/6/8 中部版 掲載記事より

名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男理事長）は6月4日、名古屋市が主催する第27回東山再生フォーラムで、生息域外保全の取り組みを紹介した。会場は東山動物園動物会館で、約150人が来場した。

同協会はこれまで、名古屋市に生息するヘイケボタルの保全活動に尽力してきた。東山動植物園開園80周年記念事業「名古屋市内にホタルを飛ばそう」プロジェクトでは、東山植物園内の水辺にミクリという植物3種類を5株ずつ植え、ホタルのすみかを作る作業も行った。

フォーラムの冒頭、あいさつに立った名古屋市緑政土木局の川崎淳裕参事は「このフォーラムも27回目を迎えることができた。保護、保全の第1歩は『知る』ことだと思う。引き続き、皆さんにホタルや植物について知ってもらおう役割を果たしていく」と述べた。

フォーラムでは、同協会らによるポスターセッションの他、環境省中部地方環境事務所の三村起一所長、日本ホタルの会の小俣軍平理事らが講演を行った。



Copyright © 2006-2017KENTSU SHINBUNSHA. All Rights Reserved

建設新聞読むなら建通新聞。[建設専門紙]

愛造協・名造協 清掃ボランティア

2017/7/3 中部版 掲載記事より

愛知県造園建設業協会名古屋支部（梅岡美喜男支部長）と名古屋東部支部（稲熊居吉支部長）、名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男会長）は合同で6月29日、名古屋市守山区の壇ノ浦公園と雨池公園で、清掃ボランティア活動を実施した。両協会の会員約30人の他、守山土木事務所の加藤道哉所長らが参加した。

冒頭、加藤所長は「日ごろから、道路・公園の整備や清掃活動などに協力してもらい感謝している。われわれ名古屋市の職員だけでは限界がある。業界の皆さんがいることで、市民の安心・安全が守られていると実感している」とあいさつ。

名古屋市造園建設業協会ボランティア活動実行委員会の菊池栄司委員長は「交通には十分気をつけて清掃活動を行ってほしい」と呼び掛けた。



Copyright © 2006-2017KENTSU SHINBUNSHA. All Rights Reserved

建設新聞読むなら建通新聞。[建設専門紙]

愛造協 名造協 白川公園で清掃活動

2017/8/31 中部版 掲載記事より

愛知県造園建設業協会名古屋支部（梅岡美喜男支部長）と名古屋東部支部（稲熊居吉支部長）、名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男会長）は合同で8月24日、名古屋市中区の白川公園で、清掃ボランティア活動を実施した。中土木事務所の犬飼教詞所長が参加した。

冒頭、犬飼所長は「日ごろから、道路・公園の整備や清掃活動などに協力してもらい感謝している。今日も暑い中での作業となる。熱中症に気を付けて、本業に支障が出ないように作業をお願いしたい」とあいさつした。

当日は両協会の会員約30人が参加。公園内のごみ拾い作業を実施した。



Copyright © 2006-2017KENTSU SHINBUNSHA. All Rights Reserved

建設新聞読むなら建通新聞。[建設専門紙]

名造協 森と緑の防災訓練実施

2017/9/27 中部版 掲載記事より

名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男理事長）は毎年、川名公園で森と緑の防災訓練を実施しており、今年は9月17日と23日の2回行った。同協会員約20人と名古屋市昭和土木事務所職員は、地域住民に、川名公園内にある防災施設、備蓄倉庫の説明や簡易トイレの使い方などを教えた。来賓として、奥村文洋名古屋市議員も参加した。

奥村議員は、「川名公園は名古屋市の防災緑地公園第1号として整備した。防災訓練を通して防災意識を高めてほしい」とあいさつ。また、梅岡理事長は、昭和区内の協会員を紹介し、「災害が起こった場合、すぐに駆け付け、皆さんの手足となって働かせていただく」と述べた。

訓練は、3班に分かれて、公園内の防災設備についての説明、簡易トイレの設置、東屋のテント張りを行った。



Copyright © 2006-2017KENTSU SHINBUNSHA. All Rights Reserved

建設新聞読むなら建通新聞。[建設専門紙]

名造協 花壇ボランティア活動

2017/10/23 中部版 掲載記事より

名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男会長）は10月17日と18日の2日間、名古屋市中村区の中村公園前交差点と千種区の今池交差点で花壇の管理業務を行った。中村公園には協会員の他、名古屋市議員の斉藤たかお議員も参加した。

斉藤議員は「長年、市民のために中村公園の交差点で、花壇管理ボランティアをやっていただけて感謝している。このように貢献している協会の活動をもっと広く知ってもらいたい」と話した。

今池交差点には千種土木事務所の可知秀章氏が訪れ、「ボランティアという形で景観の美化に協力していただき感謝している」と述べた。

協会では毎年、一年を通じて花壇の維持管理することを名古屋市に寄付しており、今回は2017年度2回目で、2日間合計でダイアンサス（和名・なでしこ）を1150株植えた。



Copyright © 2006-2017KENTSU SHINBUNSHA. All Rights Reserved

建設新聞読むなら建通新聞。[建設専門紙]

愛造協 名造協 植樹ボランティア

2017/10/25 中部版 掲載記事より

愛知県造園建設業協会名古屋支部（梅岡美喜男支部長）と名古屋東部支部（稲熊居吉支部長）、名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男会長）は10月21日、戸田川緑地の「なごや西の森づくり事業とだがわの森感謝祭」の開催に合わせた、植樹ボランティア活動を実施した。

当日は、雨天の影響で感謝祭が中止となったが、植樹活動は実施。両協会員約30人の他、市民や地域ボランティア、名古屋市職員らが数多く参加した。会員は、参加者が苗木を補植する作業の指導や補助を行った。植樹したのはサカキ、ニフトコ、イロハモミジなど低木、中木、14種220本。

名古屋市緑政土木局の太高将明主査は、「両協会には、日ごろから地域のまちづくりの他、数々のボランティア活動を実施してもらい、感謝している」と話した。



Copyright © 2006-2017KENTSU SHINBUNSHA. All Rights Reserved

建設新聞読むなら建通新聞。[建設専門紙]

名古屋市 みどりの補助金説明会

2017/11/6 中部版 掲載記事より

名古屋市緑政土木局は10月31日、本陣の会議室で愛知県造園建設業協会名古屋支部（梅岡美喜男支部長）、同名古屋東支部（稲熊居吉支部長）、名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男会長）に向けた、名古屋市民有地緑化助成事業「みどりの補助金」説明会を開催した。説明会には会員ら約20人が参加した。

公共事業の受注が不透明な状況下で会社を健全に経営するためには、民間工事をいかに受注していくかが造園業界にとって重要な課題となっている。

緑政土木局緑地部緑地維持課の平手利彦主査は「みどりの補助金制度は、住宅メーカーからの申請が多いが、造園業界からは少ないのが現状。積極的に活用してもらいたい」と話した。説明会では、みどりの補助金助成の条件や対象、助成金額、申請から工事、維持保全までの流れの他、名古屋グッドグリーン賞の実施について説明した。



建設新聞読むなら建通新聞。[建設専門紙]

名造協 忘年会開催

2017/12/13 中部版 掲載記事より

名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男会長）は12月8日、名古屋市内で忘年会を開催し、関係者約80人が参加した。渡辺義郎名古屋市会議長の他、自民党・民進党・公明党の議員団、緑政土木局緑地部の今村良共部長ら多くの来賓が駆け付けた。

あいさつに立った梅岡会長は「来年、名古屋市と南京市の友好都市40周年を迎える。その際に、南京市の学校を迎え、造園の勉強会を開催する計画を進めている。ぜひ、皆さんに協力をお願いしたい」と述べた。

乾杯のあいさつで今西部長は、「協会の皆さんにはこの1年、公園緑地行政に対して多大な協力をいただき感謝している。今年は台風が上陸したことで、街路樹などの被害があったが、皆さんの素早い対応で、すぐに復旧ができた」と感謝を述べた。



Copyright © 2006-2017KENTSU SHINBUNSHA. All Rights Reserved

建設新聞読むなら建通新聞。[建設専門紙]

愛造協 名造協 ボランティア活動

2017/12/27 中部版 掲載記事より

愛知県造園建設業協会の名古屋支部（梅岡美喜男支部長）と名古屋東部支部（稲熊居吉支部長）、名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男会長）は合同で12月21日、名古屋市熱田区の熱田街園でボランティア活動を実施した。

両協会は2カ月に1回、ボランティア活動を行っており、熱田街園は昨年到现在2回目。正月に参拝客でにぎわうため、ごみや落ち葉拾いを行う。当日は会員ら25人が参加した。

名古屋市熱田土木事務所の森下恭光所長は熱田街園について、「園内には池があり、めだかを放流するなど市民の憩いの場となっている他、年明けには参拝客が大勢訪れる場所となっている」と説明、「年の瀬の一番忙しいときに、日ごろわれわれができない作業を実施してもらい、大変感謝している」と述べた。



Copyright © 2006-2017KENTSU SHINBUNSHA. All Rights Reserved

建設新聞読むなら建通新聞。[建設専門紙]

名造協 花壇管理ボランティア

2018/1/22 中部版 掲載記事より

名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男会長）は1月16日と18日の2日間、名古屋市中村区の中村公園前交差点と千種区の今池交差点で花壇の管理業務のボランティアを行った。2日間で協会員約30人が参加し、中村公園前交差点には斉藤たかお名古屋市会議員も駆け付けた。

今回は、中村公園前交差点にパンジー700株、今池交差点にパンジー350株を植えた。

冒頭、あいさつに立った中村土木事務所の佐藤秀徳所長は、「日ごろから名古屋のまちづくり、年末に実施した米野公園の防災訓練などに力を貸していただいて感謝している」と謝意を示すとともに、「中村公園の交差点は車の交通量も多いので、事故には気を付けてほしい」と述べた。

続いて、斉藤議員は、「来年度の緑政関係の予算は、減ることはないと考えている」との見解を示した。



Copyright © 2006-2019KENTSU SHINBUNSHA. All Rights Reserved

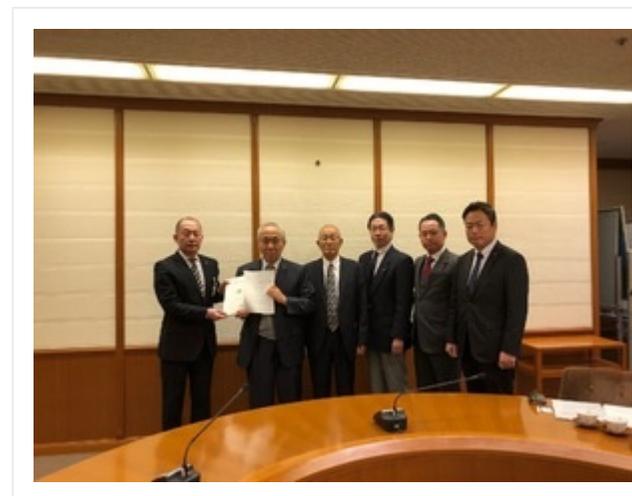
建設新聞読むなら建通新聞。[建設専門紙]

名造協 名古屋市財政局と意見交換会

2018/1/30 中部版 掲載記事より

名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男会長）は1月23日、名古屋市財政局と意見交換会を実施し、要望書を提出した。協会から会長、副会長ら3人、財政局から河野和彦契約監理監をはじめ5人、名古屋市議員らが出席した。

協会が上申したのは、▽街路、公園の除草管理回数を多くしてもらおうよう予算の確保▽観光都市として恥ずかしくないよう街路樹の剪定（せんてい）回数を増やしてほしい。高所作業車を標準仕様してもらえるよう予算の確保▽市と防災協定を結んでいる協会員に受注機会を増やしてほしい。防災訓練、ボランティアなどの参加企業に対して入札時の加点のお願い—の3点。



Copyright © 2006-2019KENTSU SHINBUNSHA. All Rights Reserved

建設新聞読むなら建通新聞。[建設専門紙]

名造協 総会と新年祝賀会を開催

2018/2/6 中部版 掲載記事より

名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男理事長）は1月31日、名古屋市内で総会と新年祝賀会を開催し、新年祝賀会には関係者約100人が出席した。国土交通省中部地方整備局の西口学建政部長、渡辺義郎名古屋市議会議長、名古屋市の三輪友夫緑政土木局長ら多くの来賓も駆け付けた。

冒頭、梅岡理事長は「昨年、協会として江戸川区や神戸市などに街路樹剪定（せんてい）の視察に行ったが、名古屋市より数も多く、経営的に厳しい造園業界の追い風となっている」との見解を示し、「われわれ協会は市民のために、清掃や花壇管理などボランティア活動を積極的に行っている。さらに防災協定に基づく訓練も実施しているが、これらは経営が安定していないとできない。地域に貢献している会社こそ、仕事が取れるような仕組みを何とか作ってほしい」と強く呼び掛けた。

総会では、役員改選が行われ、理事長以下全員が再任した。2018年事業計画として、「名古屋市内にホテルを飛ばそう」プロジェクト、姉妹都市南京市との交流、花壇管理ボランティア活動を行っていくことなどが承認された。



Copyright © 2006-2018KENTSU SHINBUNSHA. All Rights Reserved

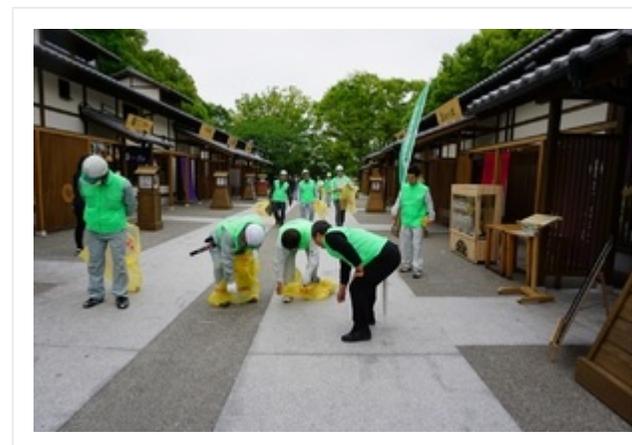
建設新聞読むなら建通新聞。[建設専門紙]

愛造協、名造協 名古屋城周辺ボランティア

2018/4/27 中部版 掲載記事より

愛知県造園建設業協会名古屋支部（梅岡美喜男支部長）と名古屋東部支部（稲熊居吉支部長）、名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男理事長）は4月24日、名古屋城外周区域で、3団体合同のボランティア活動を実施した。

名古屋城総合事務所管理活用課の高取真也氏は、「毎年この時期に名古屋城周辺の清掃作業をしてもらい感謝している。天気が良くないが、交通安全に十分気を付けて作業を進めていただきたい」と感謝の意を述べた。ボランティア活動には3団体の会員約30人が参加した。今年3月にオープンした金シャチ横町を含む、名古屋城周辺のごみ拾い作業を行った。



Copyright © 2006-2018KENTSU SHINBUNSHA. All Rights Reserved

建設新聞読むなら建通新聞。[建設専門紙]

名造協 花壇管理ボランティア

2018/5/21 中部版 掲載記事より

名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男会長）は5月15日と16日の2日間、名古屋市中村区の中村公園前交差点と千種区の今池交差点で花壇の管理業務を行い、2日間で会員約40人が参加した。中村公園交差点の作業には、中村区選出の斉藤たかお名古屋市議員も駆け付けた。

協会では、中村公園前交差点と今池交差点に花壇を設置、一年を通じて維持管理することを名古屋市に寄付している。今回は2018年度の1回目。中村区には3色のベゴニア750株、千種区には3色のベゴニア450株を植えた。

名古屋市中村土木事務所の佐藤秀徳所長は、「協会の皆さんには日ごろから公園や街路樹の整備にご協力いただいて感謝している。事故と熱中症には十分気をつけて作業を行ってほしい」とあいさつした。



Copyright © 2006-2019KENTSU SHINBUNSHA. All Rights Reserved

建設新聞読むなら建通新聞。[建設専門紙]

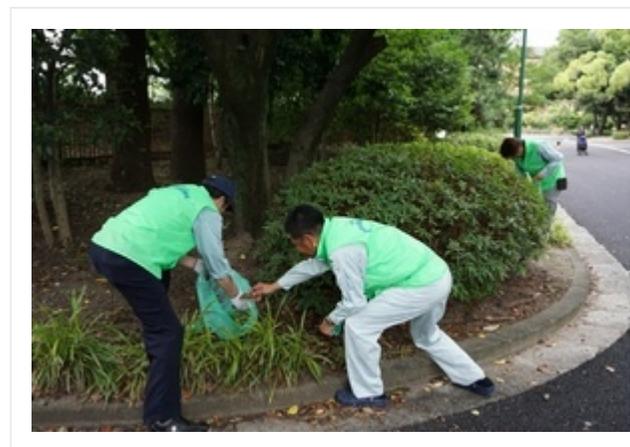
愛造協 名造協 鶴舞公園でボランティア

2018/7/2 中部版 掲載記事より

愛知県造園建設業協会名古屋支部（後藤幸支部長）と名古屋東部支部（稲熊居吉支部長）、名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男会長）は合同で6月27日、名古屋市昭和区の鶴舞公園でゴミ拾いのボランティア活動を実施した＝写真。

両協会は2カ月に1回、ボランティア活動を行っているが、鶴舞公園は初めてとなる。当日は会員ら約30人が参加した。鶴舞公園事務所の佐々木辰夫所長は、「今回、鶴舞公園内のごみ拾いをさせていただきありがたい」と謝意を示すとともに、「両協会の皆さんは、同様の活動を各地で行っていると知り、同じ緑を扱う者として、素晴らしいことだと感じている」と述べた。

両協会は来年度以降も引き続き、鶴舞公園でのボランティア活動を進めていきたい考えだ。



Copyright © 2006-2018 KENTSU SHINBUNSHA. All Rights Reserved

建設新聞読むなら建通新聞。[建設専門紙]

名造協 南京・句容研修報告会開催

2018/7/18 中部版 掲載記事より

名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男会長）は7月10日、日中平和友好条約締結40周年を記念して、南京・句容研修報告会を名古屋市内で開いた。鄧偉中国総領事や名古屋市会議員団、協会会員ら約60人が出席した。

冒頭、あいさつに立った梅岡会長＝写真＝は、「今回、南京市内の公園や学校を見学させていただいて、大変有意義な時間を過ごすことができた」とし、「今後、日本と中国の学生や教授らの交流を積極的に進めていくことが必要。そのためには日本の造園業界もまだまだ学ばなくてはならないことが多い」と述べた。続けて、服部将也名古屋市会議員が「南京市長をはじめ、南京市議会議員の方が温かく迎えてくれた。今回の訪問はまだ第一歩にすぎない。引き続き絆を深める活動を進めていかなくてはいけないと感じた」とあいさつした。

今回の訪問は6月4日～7日の4日間。明代の李陵、中山陵風景区造園視察や南京林業大学、江蘇省農業技術大学の視察などを実施した。



建設新聞読むなら建通新聞。[建設専門紙]

愛造協・名造協 ボランティア

2018/9/4 中部版 掲載記事より

愛知県造園建設業協会名古屋支部（後藤幸支部長）と名古屋東部支部（稲熊居吉支部長）、名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男会長）は合同で8月30日、名古屋市守山区の雨池公園と壇ノ浦公園でゴミ拾いのボランティア活動を実施した＝写真。

両公園は小学生の学校公園としても利用されており、新学期に合わせて清掃活動を行った。当日は会員ら約30人が参加した。

名古屋市緑政土木局守山土木事務所の加藤道哉所長は、「今年は7月ごろから猛暑が続いたが、その前は雨が多かった。樹木はもちろん雑草が大きく育ったことで、皆さんの協力も得ながら刈り取り作業に苦慮した」との見解を示すとともに、「暑い中の清掃作業に感謝している」と述べた。



Copyright © 2006-2018KENTSU SHINBUNSHA. All Rights Reserved

建設新聞読むなら建通新聞。[建設専門紙]

愛造協 名造協 植樹ボランティア活動

2018/2/23 中部版 掲載記事より

愛知県造園建設業協会の名古屋支部（梅岡美喜男支部長）と名古屋東部支部（稲熊居吉支部長）、名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男会長）は2月20日、名古屋市中川区の戸田川緑地で、植栽の合同ボランティア活動を行った。会員30人の他、みどりの協会員、名古屋市職員、富士文化幼稚園の園児と保護者ら約250人が参加した。

とだがわ生態園の核となる区域に隣接する植樹帯で、イロハモミジやヤマザクラ、モチツツジなど中低木18種類、250本を植栽した。

主催者である、みどりの協会の久田康則事業部長は、「2013年度から始めたこの植樹活動も5回目を迎えることができた。いろいろな高さの木が多層的に茂っている森を目指している」と述べ、「緑はみんなの宝物。今を生きているわれわれは、次の世代にこの宝物を引き継いでいく義務がある」と呼び掛けた。



Copyright © 2006-2018KENTSU SHINBUNSHA. All Rights Reserved

建設新聞読むなら建通新聞。[建設専門紙]

名造協 森と緑の防災訓練に協力

2018/9/12 中部版 掲載記事より

名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男理事長）は9月9日、昭和区子ども会育成連絡協議会が主催し、川名公園で実施する森と緑の防災訓練に協力した。

訓練には小学生20人、中学生20人の他、協力者として同協会員約20人、名古屋市昭和土木事務所職員、昭和消防署員も参加した。また、来賓として奥村文洋名古屋市議員も参加した。訓練では、川名公園内にある竈ベンチ、防災施設、備蓄倉庫の説明や簡易トイレの使い方、AED操作などを教えた。

奥村議員は、「川名公園は名古屋市の防災緑地公園として20年かけて整備した。以前ここに住んでいた人たちの協力があったからこそだと感謝している。この訓練で防災意識を高めてほしい」と述べた。昭和土木事務所の堀透所長は、「公園内にあるさまざまな施設を知ってもらい、いざという時にしっかりと使えるように学んでほしい」と呼び掛けた。



Copyright © 2006-2018 KENTSU SHINBUNSHA. All Rights Reserved

建設新聞読むなら建通新聞。[建設専門紙]

愛造協 名造協 とだがわの森感謝祭協力

2018/10/18 中部版 掲載記事より

愛知県造園建設業協会名古屋支部（後藤幸支部長）と名古屋東部支部（稲熊居吉支部長）、名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男会長）は10月13日、戸田川緑地で開催された「なごや西の森づくり事業とだがわの森感謝祭」を支援するボランティア活動を実施した。当日は、両協会員約30人の他、市民や地域ボランティア、名古屋市職員らが大勢参加した。会員は、参加者が苗木を補植する作業や木の伐採などを行う育樹作業、雑草などを刈る除草作業の指導や補助を行った。

また、高所作業車から、「空からとだがわの森を見てみよう」という企画を行い、多くの参加者が体験した。高所作業車はアクティオ名古屋支店（名古屋市中区）が高所作業車の貸出し協力をしてくれたもので、終了時間ぎりぎりまで多くの親子が並んだ。



建設新聞読むなら建通新聞。[建設専門紙]

名造協 防災訓練協力

2018/10/18 中部版 掲載記事より

名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男会長）は10月13日、名古屋市
中村区の米野公園で防災施設訓練の運営に協力した。主催者の米野
学区連絡協議会の他、名古屋市緑政土木局中村土木事務所の職員、
周辺住民らが参加した。

訓練では、防災公園の米野公園で、発災時に活用できる井戸、日
陰棚、仮設トイレ、かまどベンチなど、防災施設の設営方法や利用
方法について学んだ。



Copyright © 2006-2018KENTSU SHINBUNSHA. All Rights Reserved

建設新聞読むなら建通新聞。[建設専門紙]

名造協 花壇管理ボランティア

2018/10/22 中部版 掲載記事より

名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男会長）は10月17～18日の2日間、名古屋市中村区の中村公園前交差点と千種区の今池交差点で花壇の管理業務を行った。中村公園には協会員の他、名古屋市会議員の斉藤たかお議員も参加した。

冒頭、名古屋市緑政土木局中村土木事務所の佐藤秀徳所長は、「この花壇管理のボランティアや防災訓練などに協力していただいで感謝している。これら地道な努力が建設業界をより良いものにしていくと思う」とあいさつした。

続けて、斉藤議員は、「中村公園交差点は人通りが多く、中村区のメイン通りとなっている。そこで季節ごとにきれいな花を植えていただけることに感謝している」と述べた。

協会では毎年、一年を通じて花壇の維持管理で名古屋市に貢献しており、今回は両交差点で、ダイアンサス（和名・なでしこ）1150株を植えた。



Copyright © 2006-2018KENTSU SHINBUNSHA. All Rights Reserved

建設新聞読むなら建通新聞。[建設専門紙]

名造協 忘年会開催 70人が参加

2018/12/21 中部版 掲載記事より

名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男会長）は12月14日、名古屋市内で忘年会を開いた。自民党・民進党・公明党の議員団、緑政土木局緑地部の山田好人部長らをはじめ、関係者約70人が参加した。

あいさつに立った梅岡会長＝写真＝は、「年末の忙しい時期に多くの方に参加していただいて大変ありがたい」と謝意を表すとともに、「今年は南京に訪れ、市内の公園や学校を見学させてもらった。これから日本と中国の学生の交流などに協力していくことで、業界を盛り上げていこう」と呼び掛けた。

自民党議員団の渡辺義郎議員は、「協会員の方々には、日頃から名古屋を緑のまちにするために、さまざまな角度から協力をしていただいている。今日は皆さんからの率直な意見をいただいて、行政に生かしていきたい」と述べた。



あいさつする梅岡会長

Copyright © 2006-2019KENTSU SHINBUNSHA. All Rights Reserved

建設新聞読むなら建通新聞。[建設専門紙]

愛造協 名造協 熱田街園でボランティア

2019/1/8 中部版 掲載記事より

愛知県造園建設業協会の名古屋支部（後藤幸支部長）と名古屋東部支部（稲熊居吉支部長）、名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男会長）は合同で12月26日、名古屋市熱田区の熱田街園でゴミ拾いのボランティア活動を実施した。

両協会は2カ月に1回、ボランティア活動を行っているが、年末は毎年熱田街園でゴミ拾いを行っている。当日は会員ら約30人が参加した。

名古屋市熱田土木事務所の森下恭光所長はあいさつで、「年の瀬の忙しいときに、毎年ゴミ拾いをしていただいて大変ありがたい」と感謝の意を示すとともに、「この活動のおかげで、年明けに大勢来られる、参拝客を気持ちよく迎えることができる」と述べた。



Copyright © 2006-2019 KENTSU SHINBUNSHA. All Rights Reserved

建設新聞読むなら建通新聞。[建設専門紙]

愛造協 名造協 清掃活動実施

2020/2/28 中部版 掲載記事より

愛知県造園建設業協会名古屋支部（後藤幸支部長）と名古屋東部支部（稲熊居吉支部長）、名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男会長）は2月20日、名古屋市天白区の名古屋市農業センターで、梅園・駐車場・通路などの清掃活動のボランティア活動を実施した。

両協会は2カ月に1回、ボランティア活動を行っているが、名古屋市農業センターでは、「しだれ梅まつり」の開催に合わせ、昨年からの清掃活動を行っている。当日は会員ら約30人が参加した。名古屋市農業センターの鈴木裕治所長はあいさつで、「日頃から園内の管理にご協力いただいております。暖冬の影響もあって梅が満開になっている。この清掃活動で、来場者がまつりを楽しむことができる」と述べた。



Copyright © 2006-2020 KENTSU SHINBUNSHA. All Rights Reserved

建設新聞読むなら建通新聞。[建設専門紙]

名造協 花壇ボランティア実施

2020/7/14 中部版 掲載記事より

名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男会長）は7月7日、名古屋市千種区の今池交差点で花壇の管理業務を行い、千種土木事務所緑地係の尾崎仁美係長ら名古屋市職員2人と会員約20人が参加した。

協会は、中村公園前交差点と今池交差点に花壇を設置し、ボランティアで年4回に渡り、花を植え替えている。今回はコロナ禍の影響で、開催時期をずらし、今池交差点のみで実施することとした。ポーチユラカ450株を植えた。



Copyright © 2006-2020 KENTSU SHINBUNSHA. All Rights Reserved

建設新聞読むなら建通新聞。[建設専門紙]

愛造協 名造協 ボランティア活動

2020/9/4 中部版 掲載記事より

愛知県造園建設業協会名古屋支部（後藤幸支部長）と名古屋東部支部（稲熊居吉支部長）、名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男会長）は合同で8月27日、名古屋市守山区の雨池公園と壇ノ浦公園でごみ拾いのボランティア活動を実施した＝写真。当日は会員ら約30人が参加した。

名古屋市緑政土木局守山土木事務所の岡部克矢副所長は、「両協会の皆さんには、日ごろから公園の整備や維持管理などさまざまな面で協力していただいて感謝している」と述べるとともに、「公園利用者が気持ち良く訪れることができるよう、引き続き清掃活動を進めていただけるようお願いしたい」と呼び掛けた。



Copyright © 2006-2020 KENTSU SHINBUNSHA. All Rights Reserved

建設新聞読むなら建通新聞。[建設専門紙]

愛造協 名造協 戸田川緑地で植樹

2020/10/26 中部版 掲載記事より

愛知県造園建設業協会の名古屋支部（後藤幸支部長）と名古屋東部支部（稲熊居吉支部長）、名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男会長）は10月20日、戸田川緑地でボランティア活動を実施した。毎年、園芸緑友会員、戸田川みどりの夢くらぶ員らと協力して植樹作業を行っているが、今年は当初予定していた10月10日が台風だったため延期となった。両造園協会員ら約30人を含め、合計約80人が参加した。



名古屋市みどりの協会の川本洋敬みどりの事業課長は冒頭、「本日は予備日での開催にもかかわらず、多くの方に参加していただき感謝している。手順に沿って植樹をして、戸田川緑地を市民の癒やしの場として充実させたい」とあいさつした。

今回植樹したのは、ムクノキ177本、エノキ120本、クロマツ11本、イロハモミジ23本、ソヨゴ23本、ヤブツバキ23本。

建設新聞読むなら建通新聞。[建設専門紙]

名造協 防災授業運営への協力

2020/11/26 中部版 掲載記事より

名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男理事長）は11月18～19日の2日間、名古屋市立広路小学校が主催する防災授業の運営に協力した。防災授業の会場となったのは川名公園で、18日は5年1組、19日は5年2組の生徒が防災施設について学んだ。また、名造協会員の約40人他、昭和土木事務所の都築敦所長らが参加した。

冒頭、都築所長は「日ごろ皆さんが利用しているこの川名公園は、いざ災害が起こった時に避難場所として利用できる施設が装備されている。この授業でしっかりと学んでほしい」とあいさつした。

防災授業では、仮設トイレの組み立て、井戸くみ上げなどについて学んだ。また、名古屋市造園建設業協会が川名公園に寄贈した「かまどベンチ」を使ってアルファ化米の炊き出しも実施した。



Copyright © 2006-2020 KENTSU SHINBUNSHA. All Rights Reserved

建設新聞読むなら建通新聞。[建設専門紙]

名造協 花壇管理ボランティア

2020/12/4 中部版 掲載記事より

名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男会長）は11月25～26日の2日間、千種区の今池交差点と名古屋市中村区の中村公園前交差点で花壇の管理業務を行い、2日間で会員ら約30人が参加した。中村公園には協会員のほか、名古屋市会議員の齊藤たかお議員も参加した。

冒頭、名古屋市緑政土木局中村土木事務所の森下恭光所長は、「花壇管理のボランティアに協力していただいて感謝している。今、コロナ禍で人々の心が落ち込んでいるが、花壇に植えられる美しい花が道行く人を癒してくれるだろう」とあいさつした。

協会では毎年、一年を通じて花壇の維持管理で名古屋市に貢献しており、今回はこれまでで初めてビオラを植えることとし、その数は両交差点で1150株となった。



Copyright © 2006-2020 KENTSU SHINBUNSHA. All Rights Reserved

建設新聞読むなら建通新聞。[建設専門紙]

愛造協、名造協 熱田街園でボランティア

2021/1/6 中部版 掲載記事より

愛知県造園建設業協会名古屋支部（後藤幸支部長）と名古屋東部支部（稲熊居吉支部長）、名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男会長）は12月23日、名古屋市熱田区の熱田街園で清掃のボランティア活動を実施した。当日は両協会から会員ら25人が参加した。

両協会は2カ月に1回、ボランティア活動を行っているが、年末は毎年熱田街園でゴミ拾いを行っている。

名古屋市熱田土木事務所の岡本誠所長はあいさつで、「年末の忙しいときに、毎年ゴミ拾いをさせていただいて大変ありがたい」と謝意を示すとともに「今年は新型コロナウイルスが猛威を振るい、自粛の一年だったが、来年は良い年を迎えたい」述べた。



Copyright © 2006-2021 KENTSU SHINBUNSHA. All Rights Reserved

建設新聞読むなら建通新聞。[建設専門紙]

愛造協 名造協 農業センターで清掃活動

2021/2/26 中部版 掲載記事より

愛知県造園建設業協会名古屋支部（後藤幸支部長）と名古屋東部支部（稲熊居吉支部長）、名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男会長）は2月19日、名古屋市天白区の名古屋市農業センターで、梅園・駐車場・通路などの清掃活動ボランティアを実施した。

両協会は2カ月に1回、ボランティア活動を行っているが、名古屋市農業センターでは2年前から清掃活動を行っている。当日は会員ら約30人が参加した。

名古屋市農業センターの鈴木裕治所長はあいさつで、「両協会の皆さんには、毎年この時期に清掃活動をしていただいで感謝している。日ごろ職員が気が付いたごみは拾っているが、細かいところまでは行き届いていない」とし、「まだ園内の梅はつぼみの状態だが、2月27日からのしだれ梅まつりには満開となって、来場者がまつりを楽しむことができるだろう」とあいさつした。



Copyright © 2006-2021 KENTSU SHINBUNSHA. All Rights Reserved

建設新聞読むなら建通新聞。[建設専門紙]

愛造協・名造協 名古屋城周辺で清掃活動

2021/5/12 中部版 掲載記事より

愛知県造園建設業協会名古屋支部（後藤幸支部長）と名古屋東部支部（稲熊居吉支部長）、名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男会長）は4月28日、名古屋城周辺でごみ拾いのボランティア活動を実施し、3団体の会員ら約30人が参加した＝写真。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からマスクの着用を徹底して作業を行った。

名古屋城総合事務所管理活用課の村野守係長は、「名古屋城では、コロナ禍の状況ではあるものの、金シャチの地上展示、情報館のオープンなどのイベントが進められている。名古屋城とその周辺を常にきれいにしておくことで、コロナ収束後いつでもお客さんを迎える準備を整えておきたい。本日の清掃活動に感謝している」と述べた。



Copyright © 2006-2021 KENTSU SHINBUNSHA. All Rights Reserved

建設新聞読むなら建通新聞。[建設専門紙]

愛造協、名造協 鶴舞公園で清掃活動

2021/7/2 中部版 掲載記事より

愛知県造園建設業協会名古屋支部（後藤幸支部長）と名古屋東部支部（稲熊居吉支部長）、名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男会長）は合同で6月29日、名古屋市昭和区の鶴舞公園でボランティア活動を実施した＝写真。会員ら約20人が参加し、園内のごみ拾いを行った。

鶴舞公園事務所の佐々木辰夫所長は、「今回、鶴舞公園内のごみ拾いをさせていただきありがたい」と謝意を示すとともに、「昨年はコロナウイルス感染拡大の影響で実施できなかったが、今年は清掃活動をしていただき、協会の皆さんには感謝している。おかげで鶴舞公園を訪れる市民が気持ち良く過ごせる場になる」と述べた。



ごみ拾いのようす

Copyright © 2006-2021 KENTSU SHINBUNSHA. All Rights Reserved

愛造協・名造協 雨池公園でごみ拾い

2021/8/30 中部版 掲載記事より

愛知県造園建設業協会名古屋支部（後藤幸支部長）と名古屋東部支部（稲熊居吉支部長）、名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男会長）は合同で8月26日、名古屋市守山区の雨池公園でごみ拾いのボランティア活動を実施した＝写真。当日は名古屋市職員6人と会員ら約30人が参加した。

守山区内でのボランティア活動は今回で5年目を迎える。例年雨池公園と壇ノ浦公園で作業を行っているが、壇ノ浦公園が現在工事を行っているため、今年は雨池公園内とその周辺でのごみ拾いとなった。

名古屋市緑政土木局守山土木事務所の岡部克矢副所長は、「両協会の皆さんには日頃から、このごみ拾いボランティアだけでなく、公園の整備や維持管理などさまざまな面で協力していただいている。熱中症に気を付けて作業していただきたい」と述べた。



ごみ拾いをする会員

愛造協、名造協 戸田川緑地でボランティア

2021/10/28 中部版 掲載記事より

愛知県造園建設業協会の名古屋支部（後藤幸支部長）と名古屋東部支部（稲熊居吉支部長）、名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男会長）は10月23日、戸田川緑地でボランティア活動を実施した。毎年、園芸緑友会員、戸田川みどりの夢くらぶ員らと協力して植樹作業を行っているが、今年は地元企業4社の従業員やその家族らによる樹木の間伐作業の指導や手伝いを行った。両造園協会員ら約30人が参加した。

名古屋市緑政土木局緑地部の中根和之係長は、「森づくりには樹木を植えるだけでなく、間伐することも大切な作業。本日はこの間伐作業を一般のボランティアの方々に行ってもらおうが、刃物を使うためプロの皆さんの指導が重要となる」と述べた。今回間伐したのはムクノキやエノキ。



間伐のやり方を指導している様子

愛造協 名造協 年末ボランティア

2021/12/24 中部版 掲載記事より

愛知県造園建設業協会名古屋支部（後藤幸支部長）と名古屋東部支部（稲熊居吉支部長）、名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男会長）は12月22日、名古屋市熱田区の熱田街園で清掃のボランティア活動を実施した。当日は両協会から会員ら約30人が参加した。両協会は2カ月に1回、ボランティア活動を行っており、年末は毎年熱田街園でごみ拾いを行っている。

名古屋市熱田土木事務所の堀田俊幸所長は、「毎年年末に熱田街園でごみ拾いをしていただいで大変ありがたい」と謝意を示すとともに「熱田神宮を訪れる多くの参拝客も気持ちよくお参りができる」述べた。



ボランティア活動の様子

愛造協・名造協 農業センターで清掃活動

2022/2/28 中部版 掲載記事より

愛知県造園建設業協会の名古屋支部（後藤幸支部長）と名古屋東部支部（稲熊居吉支部長）、名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男会長）は2月22日、名古屋市天白区の名古屋市農業センターで、梅園・駐車場・通路などの清掃ボランティア活動を実施した。当日は会員ら25人が参加した。

名古屋市農業センターの中村成利所長は冒頭のあいさつで、「明日から始まる『農業センターしだれ梅』イベントの開催に合わせて、園内の清掃活動をしていただき、大変感謝している」と述べるとともに、農業センターの運営について「2024年度から名古屋市の直接管理から民間事業者による指定管理者制度に変わる。引き続きご協力をお願いしたい」と呼び掛けた。



ごみを拾う会員ら

愛造協・名造協 名古屋城周辺で清掃活動

2022/5/2 中部版 掲載記事より

愛知県造園建設業協会名古屋東部支部（稲熊居吉支部長）と名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男会長）は4月26日、名古屋城周辺の清掃ボランティア活動を実施した。会員ら22人が参加し、名古屋城の周りを歩きながらごみを拾った＝写真。

名古屋城総合事務所管理活用課の佐々木誠係長は、長年の活動への感謝を伝えた上で、「天守閣は入場を規制しているが、特別公開や展示、春祭りなどで屋台が出る。ゴールデンウィークには多くの人を訪れるはずだ。清掃することで気持ち良く来場してもらいたい」と期待を込めてあいさつした。



愛造協・名造協 鶴舞公園で清掃活動

2022/6/29 中部版 掲載記事より

愛知県造園建設業協会名古屋東部支部（稲熊居吉支部長）と名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男会長）は6月23日、鶴舞公園の清掃ボランティア活動を実施した。会員ら約20人が参加し、園内のごみを拾った。=写真。

冒頭のあいさつで、鶴舞公園整備運営事業共同企業体の佐々木辰夫所長は、会員らに活動への感謝を伝えた上で「歴史ある公園で、建物も古くなり木々も大きくなっている。ここが風格のある公園か、古びた公園になるかは、ごみの有無にかかっている。今後も清掃活動を続けてほしい」と期待を込めた。



愛造協・名造協 雨池・壇ノ浦公園で清掃

2022/9/7 中部版 掲載記事より

愛知県造園建設業協会の名古屋東部支部（稲熊居吉支部長）と名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男会長）は8月30日、雨池・壇ノ浦公園の清掃ボランティア活動を実施した。会員ら約20人が参加し、園内周辺のごみを拾った＝写真。

冒頭、名古屋市守山土木事務所の藤岡丈夫所長は、「皆さんは災害時などに協力いただけるパートナーだ」と普段の活動に感謝した。また、学校公園としての利用にも触れ、「2学期開始前の清掃活動は大変ありがたい」と話した。

両協会は2カ月に1回、清掃ボランティア活動を継続している。



ごみを拾う会員ら

愛造協 愛・地球博公園に樹木を寄贈

2022/10/13 中部版 掲載記事より

愛知県造園建設業協会（梅岡美喜男会長）は10月3日、愛・地球博記念公園にアカマツ2本とコグマザサ28平方メートル分を寄贈した。同日の寄贈式典では愛知県から感謝状が贈られた＝写真。

式典の冒頭、梅岡会長は「2005年に開催した愛・地球博を契機に、植物の大切さを広く県民の皆さんに啓発するため、県内各地に樹木を寄贈している。アカマツが大きく育ち、西口広場のシンボルとなってほしい」とあいさつ。続いて、愛知県の柳澤康行都市・交通局都市基盤部長に樹木の目録を渡した。柳澤部長は日ごろの協力に感謝を伝え、「来月いよいよ公園内にジブリパークが開園する。アカマツがしっかりと成長し、皆さんから愛される公園になることを期待している」と話した。



梅岡会長（左）と柳澤都市・交通局都市基盤部長（右）

名造協 森と緑の防災訓練に協力

2022/12/9 中部版 掲載記事より

名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男会長）は12月2日、名古屋市昭和区の川名公園で広路小学校と名古屋市昭和土木事務所が行った「森と緑の防災訓練」に協力した。同協会は名古屋市との間で「災害時における応急対策業務に関する協定」を締結している。

当日は、昭和土木事務所職員らと協会員約20人、広路小学校3年生約100人が参加。冒頭、昭和土木事務所の鈴木裕治所長は「今回は皆さんの手を借りて訓練を円滑に進めたい」と協会員に伝え、小学生らには公園について説明した。その後、小学生は3グループに分かれ、災害など発生時に活用できるかまどベンチや井戸・仮設トイレ、日陰棚の防災施設の設営方法などを体験し、協会員らがサポートした＝写真。

かまどベンチは協会が寄贈したもので通常時はベンチとして使用し、災害時にはかまどとして利用できる。



かまどベンチの組み立てを体験

愛造協・名造協 熱田街園でボランティア

2022/12/22 中部版 掲載記事より

愛知県造園建設業協会名古屋東部支部（稲熊居吉支部長）、名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男会長）は12月20日、名古屋市熱田区の熱田街園で清掃ボランティアを実施した。

会員約20人が参加する中、名古屋市熱田土木事務所の幅明央所長は「この場所は『めだがの学校』として地域に親しまれ、近くの熱田神宮は元旦に多くの人を訪れ、にぎわう場所でもある。年末の忙しい中、清掃活動への参加は大変有り難い」とあいさつし、日ごろの活動への感謝を伝えた。その後、会員らはごみや落ち葉拾いなどの美化活動に励んだ＝写真。

両協会は2カ月に一度清掃ボランティア活動を行っており、熱田街園では12月下旬にごみ拾いなどを実施している。



落ち葉を集める会員ら

愛造協・名造協 農業センターで清掃活動

2023/2/28 中部版 掲載記事より

愛知県造園建設業協会名古屋東部支部（稲熊居吉支部長）、名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男会長）は2月21日、名古屋市天白区の名古屋市農業センターで、清掃ボランティア活動を行った＝写真。当日は会員ら約20人が参加した。

名古屋市農業センターの中村成利所長は冒頭のあいさつで、「農業センターでは行う『農業センターしだれ梅2023』の前に園内の清掃をしていただき、大変ありがたい」と感謝を伝えた。また、農業センターの運営について「来年度から指定管理者に変わるが、引き続き協力をお願いしたい」と話した。

その後、参加者は梅園や通路、駐車場などのごみを拾い、園内の美化に汗を流した。



梅園でゴミ拾いを実施

愛造協・名造協 名古屋城周辺で清掃活動

2023/4/28 中部版 掲載記事より

愛知県造園建設業協会名古屋東部支部（稲熊居吉支部長）と名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男会長）は4月26日、名古屋城周辺の清掃ボランティア活動を実施した＝写真。

冒頭、名古屋城総合事務所管理活用課の佐々木誠係長は、参加した会員ら約20人に日ごろの植栽・施設管理への感謝を伝えた。その上で「名古屋城では春まつりを行っている。ゴールデンウィークには多くの来場者が予想される。本日の清掃で、より快適に来場できる」と期待を込めてあいさつした。その後、参加者は雨の中を歩きながら紙ごみや缶などのごみ拾いに励んだ。



雨の中ごみを拾う会員ら

愛造協・名造協 鶴舞公園で清掃活動

2023/7/6 中部版 掲載記事より

愛知県造園建設業協会の名古屋東部支部（稲熊居吉支部長）と名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男会長）は6月28日、鶴舞公園の清掃ボランティア活動を実施した。会員ら約20人が参加し、園内のごみを拾った＝写真。

当日は会員約20人が参加した。冒頭、鶴舞公園整備運営事業共同企業体の佐々木辰夫所長は、「当公園は5月27日にリニューアルし、たくさんの来園者が訪れている。ごみも増えると思うが、きれいな公園と言われているのは皆さんの協力のおかげだ」と会員らの活動に感謝を伝えた。また、厳しい暑さへの適切な対応を注意喚起した。



清掃する会員ら

愛造協・名造協 雨池公園で清掃活動

2023/9/5 中部版 掲載記事より

愛知県造園建設業協会の名古屋東部支部（稲熊居吉支部長）と名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男会長）は8月29日、壇ノ浦公園と雨池公園などで清掃ボランティア活動を実施した=写真。

当日は会員23人が参加。冒頭、名古屋市守山土木事務所の大嶋重行副所長は、「壇ノ浦、雨池公園は公園遊具などをリニューアルし、多くの市民が利用している。雨池や近くの八竜緑地も水源が豊かで、多様な植物や生物が生息する市内でも貴重なエリア。こうした環境が守られているのも皆さんの協力のおかげだ」と感謝を伝えた。

その後、会員は園内や雨池周辺のごみを拾った。



壇ノ浦公園でごみを拾う会員ら

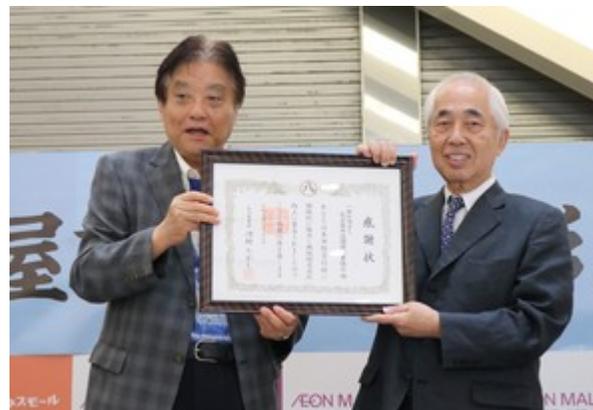
名古屋市防災表彰式 名造協に感謝状贈呈

2023/9/22 中部版 掲載記事より

名古屋市は9月17日、防災表彰式を市内で開き、個人1人と2団体に表彰状、2団体に感謝状を贈呈した。建設業界では、名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男会長）に感謝状が贈られた＝写真。

河村たかし名古屋市長はあいさつで各団体の活動に感謝した。同協会は、市の緑政土木局と災害時における応急対策業務協定を2015年3月に締結。防災訓練への協力、情報伝達訓練の参加や人員・資機材の提供など、地域における防災体制確立の一助となり、地域の防災力向上に貢献したとたたえられた。梅岡会長は「いざ災害が起こった時に、名古屋市民の役に立てるように、会員全員で精いっぱい力を尽くす」と心構えを話した。

防災表彰式は、防災施策に貢献した個人や団体に対し、その功績をたたえるとともに、市民の防災意識に一層の高揚を図ることを目的として実施している。



河村市長から感謝状を受け取る梅岡会長

愛造協・名造協 玉切り体験をサポート

2023/10/20 中部版 掲載記事より

愛知県造園建設業協会名古屋東部支部（稲熊居吉支部長）と名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男会長）は10月14、戸田川緑地でボランティア活動を行った。

両協会から約20人が参加し、「とだがわの森感謝祭」の玉切り体験やコースター作りをサポートした=写真。名古屋市緑政土木局緑地利活用課の伊藤文美主査は、森づくりや間伐などへの会員の協力に感謝を伝え、「自然豊かで生き物が育つ場所になるように、活動を続けてほしい」とあいさつした。

イベントには、地元企業の従業員や団体、家族連れなど50人以上が来場し、玉切りやコースター作りを体験。会員は、ノコギリの安全な使い方や木を切るコツなどを指導した。



玉切り体験をサポート

名造協 小学生の防災公園施設体験に協力

2023/11/9 中部版 掲載記事より

小学3年生約100人が、防災公園施設を学ぶ。名古屋市造園建設業協会（梅岡美喜男会長）は11月7日、名古屋市昭和区の川名公園で広路小学校と名古屋市昭和土木事務所の防災授業に協力した。児童らは、災害発生時に使用するかまどベンチや井戸、仮設トイレ、日陰棚の防災施設の設営方法などを体験学習、協会員らがサポートした＝写真。昭和土木事務所の原田隆所長は「小学生を対象にした体験授業は今回で4回目。施設の使い方を知り、家族間で共有してほしい」と話した。



災害対応型日陰棚へのテントシート設置に挑戦